

# つながり

五中校区通信 No.2

小中一貫教育推進コーディネーター



【校区教研のふりかえりアンケートより】

研究授業・研究協議について…肯定率100%!

## <小学校の先生>

- ・中学校の先生が、小学校に乗り入れ授業をすることが、とても素敵なりくみだと思いました。子どもたちにとって少し難しい内容だったかもしれませんが、言語能力の育成に繋がる授業だったと思います。
- ・小学校から中学校へのステップとして、どんな大変さがあるのか、またどのように授業を工夫して進めていくべきなのかを考える機会になりました。
- ・中学校の先生に小学校で授業をしていただく取り組みが新鮮で、連携事業として非常に有意義だったと思います。授業をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。
- ・話し合いの中で、中学校の先生だからこその考え方や、逆に小学校の先生だからこその考えなど様々な意見や考えを聞くことができたので、とても有意義に感じました。
- ・中学校での学びを小学校からチャレンジするという、ステップアップの素敵な機会になっていたと思います。今回限りで終わりにするのではなく、定期的または継続して取り組めるとよりよいものになると思います。
- ・中学校と小学校の段差を緩やかにするために、こういう中学校の授業を何度もしてもらいたいと思う。子どもたちは、中学校生活に対して構えができるのと小学校の教職員は、中学校の授業の進め方を意識して自分の意見を持ちそれを説明できるような力をつけるよう意識できたと思う。
- ・中学校での授業の方法を知ることができたからです。また、中学校に上がる時を見据えて、どんなことをしていくべきかヒントをいただけたからです。

## <中学校の先生>

- ・中学校の当たり前だと思っていたことが小学校の当たり前とはだいぶ違っていました。大人でそれだけ感じるということは、子どもはそのギャップがさらに大きいものになると思います。それに改めて気づくことができたので良かったです。
- ・授業を見せていただいたところはもちろんのこと、小学校の先生方がどのような考えを持っておられるのかを聞いたのが良かった。
- ・各校の学力の研究テーマに基づいた視点で、同じ授業について意見交流できたことで、様々な気づきがあったから。
- ・今回授業を見させていただいて、中小の6年生がすごく前向きで意欲的に授業に参加しているな、一緒に授業をしたらすごく楽しいだろうな、授業をしている側も力をもらえるだろうなと思いました。授業をされていた先生方が考えて作り上げた授業だったからこそ子どもたちがたくさん考えて意見も言えたんだろうなと思いました。
- ・中学校でスタンダードだと思っていたものが、小学校ではそうならない可能性があることに気づかされた。子どもたちの意欲を損なうことなく、彼らにとって主体的な学びができるか考えることができたため。

## ～ 授業者の声～

授業をさせていただいて、小学生への声掛け、発問、指示などどうすれば伝わるのかということを改めて考える機会になりました。協議の中でも出ていた話ですが、「積み重ね」ということがとても大切だということ、校区でそれを大切にしていけば、児童生徒の成長にとっても有効なものになると思いました。

授業をする際、対象となる子どもの実態を知るということは、初任の頃から重々言われてきたことですが、今回以上にそれを感じたことはありませんでした。自分の授業づくりのレベルアップにつながったと思います。

週2回小学校で勤務する立場として、また研究授業の授業者として、自分の力や考え、意識などを見直すきっかけになっているから。



### ～担任の先生の声～

☆普段から中学校の先生に来ていただいているので、6年生の子どもたちも、中学校生活についてのイメージが少しずつできているのではないかなと思います。

☆子どもたちが歴史に興味を持ち、また中学校での授業をこの時期から体験できることで安心につながったのではないかととても感謝しています。中学校との違いや小学校で養っておくべき力についても確認することができ、今後も授業を工夫していきたいと思います。

☆『中学校の先生が小学生に授業する』という試みが斬新で面白かったです。社会の授業の学習の進め方やジグソーの使い方など、とても参考になりました。初めて連携している感じを実感しています。

研究授業という形式ではありませんでしたが、事前に萱野小学校の6年生にも同じ授業を実施しました。何よりも、小中の先生と一緒に授業づくりをできたことが大きな財産となりました。



今回は中学校の先生が小学生向けに授業をするという形式で実施しました。授業者はもちろん参観された先生方も様々な学びがあったことと思います。このような取組を継続してほしいという声も上がりました。今後も連携していきましょう。



### 次年度の校区の研究テーマについて(数字は人数)

言語能力…41 主体的…8 教科横断…2 小中ギャップ…2  
評価…1 反転学習…1 非言語テキストの読み取り…1  
話す・聞く・考える…1 聴く力…1 論理的思考…1

文章理解…1 9年間を通して行えるもの…1

様々なご意見をありがとうございました。校区運営委員会を通じて協議していきます。

### オータムつながりフェスティバル

五中の実行委員を中心に運営しているイベントです。中小、萱小からも当日お手伝いに来てくれました!

いじめ防止に関する取組発表も生徒会・児童会メンバーが実施してくれました!今後、いじめ防止キャラクターグッズも作成されますのでお楽しみに!



## 2学期には小中一貫にかかわる様々な取組が行われました!



### 五中生を1日体験

授業と部活の体験を実施しました。中学校の様子がわかって安心してくれたのではないかと思います。

### いじめ防止動画撮影

阪大の映像サークルのみなさんが協力してくれ、動画を撮影しました。この動画を活用して、3学期に授業を実施します。

